

<報道関係各位>

-日本の美- 奥の細道切手原画展

2016 年 1 月 23 日(土)から 3 月 27 日(日)まで開催
(会期中の休館日:2 月 3 日、2 月 17 日、3 月 2 日、3 月 16 日 ※全て水曜日)

昭和 62 年から平成元年にかけて発行された切手「奥の細道シリーズ」。
現代の著名な書家や画家が手がけた、貴重な切手原画を一挙公開。

公益財団法人 通信文化協会は、郵政博物館 企画展示場において、
企画展「-日本の美- 奥の細道切手原画展」を 3 月 27 日(日)まで開催します。

松尾芭蕉が奥羽・北陸などを旅したようすを文章と発句でまとめた『おくのほそ道』。
その出立の約 300 年後にあたる昭和 62 (1987) 年から平成元 (1989) 年にか
けて、切手「奥の細道シリーズ」(全 10 集)が発行されました。芭蕉の句そ
のものを主題としたこの切手は、初めて「書」を意匠としたことでも知られ、
その原画は、現代を代表する書家と画家によって手がけられました。

本展では、芭蕉の句の持つ魅惑的な世界を切手として表現することに挑戦した作家
たちの原画作品を通して、芭蕉の句、書、絵画が織りなす日本の美をご覧ください。
また、道中奉行所が作成した奥州道中分間延絵図等、当館が収蔵する江戸時代の
旅や街道に関する資料についても展示いたします。

本切手原画は、当館の前身である「逓信総合博物館」において 7 年前に公開されて以来展示されておらず、この度の企画
展が「郵政博物館」として初めての特別公開となります。

①



森田曠平 <<早苗>>
奥の細道シリーズ第 3 集 切手原画
郵政博物館蔵

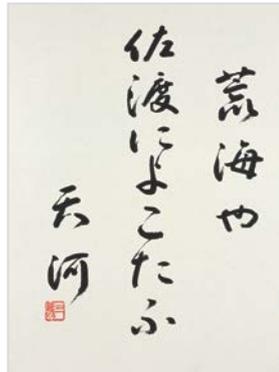
画：麻田鷹司、江守若菜、大野倅嵩、後藤純男、今野忠一、田淵俊夫、中路融人、堀文子、
松尾敏男、森田曠平、青木義照

書：青山杉雨、上條信山、杉岡華邨、殿村藍田、宮本竹逕、村上三島

②



③



④



⑤



⑥



⑦



② 青山杉雨

《書「行春や鳥啼魚の目は泪」》
奥の細道シリーズ第1集 切手原画

③ 村上三島

《書「荒海や佐渡によこたふ天河」》
奥の細道シリーズ第7集 切手原画

④ 杉岡華邨

《書「夏草や兵共が夢の跡」》
奥の細道シリーズ第4集 切手原画

⑤ 後藤純男 《山寺》

奥の細道シリーズ第5集 切手原画

⑥ 松尾敏男 《ねぶの花》

奥の細道シリーズ第7集 切手原画

⑦ 森田曠平 《懐古》

奥の細道シリーズ第4集 切手原画

※すべて 郵政博物館蔵

関連イベント

1. 奥の細道 写真パネル展

奥の細道にまつわる街道・名所等の現在のような様子を写真パネルで紹介

【会 期】 2016年3月3日（木）～3月27日（日）

【会 場】 郵政博物館多目的スペース

2. 本展オリジナル記念小型印の押印サービス（予定）

本展期間中、下記の3回に分けて、違う意匠の記念小型印が登場の予定。

(1) 1月23日～2月12日

(2) 2月13日～3月4日

(3) 3月5日～3月27日

3 切手デザイナーによるトークイベント

(1)「ハッピーの細道」

〈日時〉 3月5日(土) 14時30分～15時30分終了予定

〈出演〉 切手デザイナー 中丸ひとみ、玉木明 ※3月5日は、ぽすくまも登場します

(2)「下図を語ろう」

〈日時〉 3月6日(日) 14時30分～15時30分終了予定

〈出演〉 切手デザイナー 貝淵純子、星山理佳

【会場】 郵政博物館多目的スペース

【参加料】 無料(入場料が別途かかります)

【定員】 40名

※参加希望の方は当日15分前に会場にお集まりください

※トーク終了後に出演の切手デザイナーのサイン会を行います。

4 街道トークセッション

「奥の細道をたずねて—五街道分間延絵図でみる江戸時代の街道」

【日時】 3月20日(日) 14時30分～15時30分終了予定

【出演】 埼玉県立歴史と民俗の博物館 副館長 杉山正司
物流博物館 学芸員 玉井幹司
郵政博物館 主席資料研究員 井上卓朗

【会場】 郵政博物館多目的スペース

【参加料】 無料(入場料が別途かかります)

【定員】 40名

※参加希望の方は当日15分前に会場にお集まりください

5 江東区芭蕉記念館で学ぶ「芭蕉と深川」

芭蕉記念館にて、見学及び芭蕉と深川に関するお話を聴講します。

【日時】 2月28日(日) 13:30～15:30 終了予定(講演1時間と見学)

【会場】 江東区芭蕉記念館 会議室

【講演】 「芭蕉と深川」 江東区芭蕉記念館次長 横浜文孝

【参加料】 芭蕉記念館入館料200円を当日お支払いいただきます。

【定員】 30名

【申込み方法】

往復はがきに必要事項を記入の上、下記の申込み先にお申込みください。先着順に受付し定員になり次第締め切ります。参加者1名につき、往復はがき1枚の申し込みが必要です。

■往復はがきの往信部裏面に、①イベント名「芭蕉と深川」②お名前③ご住所④電話番号⑤年齢

■返信部表面に、返信用のお名前とご住所をお書きください。

申込み先 〒131-8139 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ9階
郵政博物館「芭蕉と深川」係

その他、気軽に楽しめる俳句教室等のイベントも予定しています。詳細は決まり次第、郵政博物館HPにてお知らせします。〈郵政博物館HP〉<http://www.postalmuseum.jp/>

同時開催イベント

同時期展示 「壮麗と真実～心齋橋大丸と逓信省のヴォーリズ建築原図展」

【会期】 2016年1月23日(土)～2月2日(火)

【会場】 郵政博物館多目的スペース

イベント 絵手紙教室

【会期】 2月21日(日)、3月13日(日)

【講師】 日本絵手紙協会公認講師

【会場】 郵政博物館多目的スペース

【参加料】 無料(入場料が別途かかります)

【定員】 10名

※当日整理券を配布します

<-日本の美- 奥の細道切手原画展の概要>

【会期】 2016年1月23日(土)～3月27日(日) 10:00～17:30(入場は17:00まで)

【休館日】 2月3日(水)、2月17日(水)、3月2日(水)、3月16日(水)

※上記は本展会期中の休館日です。それ以外の休館情報は、当館HPにてご確認ください。

【主催】 郵政博物館

【後援】 日本郵便株式会社、NHK学園

【協力】 江東区芭蕉記念館、特定非営利活動法人全国街道交流会議、全国街道資料ネットワーク

【会場】 郵政博物館 企画展示場

〒131-8139 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9階

【入館料】 大人300円、小中高150円 ※10名以上の団体は、大人250円/小中高100円

※障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料

【展示内容】

昭和62(1987)年から平成元(1989)年にかけて発行された、切手「奥の細道シリーズ」(全10集)の切手原画約60点を展示するとともに、道中奉行所が作成した奥州道中分間延絵図等、当館が収蔵する江戸時代の街道に関する資料等についても展示いたします。

【アクセス】

【交通】

東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線
京成押上線 都営浅草線:「押上(スカイツリー前)駅」下車すぐ
東武スカイツリーライン:「とうきょうスカイツリー駅」下車

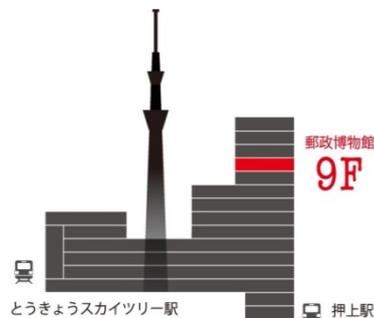
※博物館専用の駐車スペースはございません。公共の交通機関をご利用ください

[東京スカイツリータウンイーストヤード 9階へのアクセス]

エスカレーターまたはエレベーターで8階まで。

8階で8-10階専用エレベーターへ乗りかえ、9階で降り右折正面。

東京スカイツリータウン®



9階へは、8階より専用エレベーターもしくは階段をご利用ください。

【HP】 <http://www.postalmuseum.jp/>

【TEL(一般)】 TEL 03-6240-4311

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

郵政博物館(公益財団法人通信文化協会博物館部) 担当: 岩島、富永
Tel: 03-6240-4377 Fax: 03-3625-2521

広報用画像データ/プレゼント用招待券 申込書

郵政博物館「-日本の美-奥の細道切手原画」展 担当宛

FAX : 03-3625-2521

E-mail : m-iwashima@tsushinbunka.org

貴社名 :

部署名 :

ご担当者名 :

TEL :

FAX :

E-mail :

掲載/放映媒体名 :

掲載/放映予定日 : 月 日

以下、お申込み内容をチェックしてください。

画像データ申込み ご希望の画像の番号をチェックしてください。

1

森田曠平 <早苗> 奥の細道シリーズ第3集 切手原画 / 郵政博物館 蔵

2

青山杉雨 <書「行春や鳥啼魚の目は泪」> 奥の細道シリーズ第1集 切手原画
/ 郵政博物館 蔵

3

村上三島 <書「荒海や佐渡によこたふ天河」> 奥の細道シリーズ第7集 切手原画
/ 郵政博物館 蔵

4

杉岡華邨 <書「夏草や兵共が夢の跡」> 奥の細道シリーズ第4集 切手原画
/ 郵政博物館 蔵

5

後藤純男 <山寺> 奥の細道シリーズ第5集 切手原画 / 郵政博物館 蔵

6

松尾敏男 <ねぶの花> 奥の細道シリーズ第7集 切手原画 / 郵政博物館 蔵

7

森田曠平 <懐古> 奥の細道シリーズ第4集 切手原画 / 郵政博物館 蔵

プレゼント用招待券申込み (5組 10名様)

【画像使用にあたってのご注意】

*画像のご使用は、本展紹介を目的とする場合に限りさせていただきます。なお、会期後のご使用はご遠慮ください。

*画像ご使用の際は、上記クレジットをご記入ください(青字:割愛可)

*画像の加工等はご遠慮ください。

*掲載/放映後、見本誌(紙)等のご提供をお願いいたします。